

## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月11日

上場会社名 ヒーハイスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6433 URL <http://www.hephaist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 浩太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 佐々木 宏行 (TEL) 049-273-7000  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,399	56.5	179	—	178	—	127	—
2021年3月期第2四半期	894	△29.9	△88	—	△87	—	△61	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 131百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △64百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	20.65	—
2021年3月期第2四半期	△9.94	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,721	3,131	66.3
2021年3月期	4,589	3,005	65.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 3,131百万円 2021年3月期 3,005百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,622	16.6	246	180.4	245	162.7	183	338.6	29.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9 「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	6,316,700株	2021年3月期	6,316,700株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	153,984株	2021年3月期	153,984株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	6,162,716株	2021年3月期2Q	6,162,716株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスワクチン接種が進み、感染症拡大に改善が見られたことによる海外経済の回復を背景に輸出が増加するなど、景気は徐々に持ち直しの動きを見せておりますが、変異株による感染症拡大の懸念もあり、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れ、継続的に現場改善等に取り組み、さらに、新型コロナウイルス感染予防等のリスクマネジメントも講じ、供給体制を維持して参りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,399,752千円（前年同四半期比56.5%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の回復に伴い、営業利益179,113千円（前年同四半期は、営業損失88,343千円）、経常利益178,722千円（前年同四半期は、経常損失87,671千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益127,238千円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失61,248千円）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、中国市場の新型コロナウイルス感染症による影響に改善が見られたことや、半導体業界を中心に市場からの引き合いが強まり、自動化、省人化の流れがコロナ禍で更に加速したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は931,781千円と前年同四半期と比べ409,337千円の増加（前年同四半期比78.4%増）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に、売上高は407,430千円と前年同四半期と比べ155,851千円の増加（前年同四半期比61.9%増）となりました。

ユニット製品につきましては、リピート需要はあったものの、設備投資の減少により低迷した状況から、売上高は60,540千円と前年同四半期と比べ60,067千円の減少（前年同四半期比49.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,721,661千円となり、前連結会計年度末と比べ132,185千円の増加となりました。主な要因は、売上債権29,726千円の減少に対し、現金及び預金47,535千円、有価証券35,889千円及び有形固定資産63,283千円の増加によるものであります。

負債は、1,589,913千円となり、前連結会計年度末と比べ5,445千円の増加となりました。主な要因は、社債11,500千円及び長期借入金75,690千円の減少に対し、未払法人税等37,548千円、営業外電子記録債務32,907千円及び未払金75,847千円の増加によるものであります。

純資産は、3,131,747千円となり、前連結会計年度末と比べ126,739千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金121,978千円の増加によるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.3%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、1,001,350千円となり、前連結会計年度末と比べ47,535千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額17,167千円及び法人税等の支払額13,201千円による資金の減少に対し、税金等調整前四半期純利益177,756千円、減価償却費59,863千円及び売上債権の減少額32,513千円による資金の増加により、得られた資金は279,635千円（前連結同四半期は1,165千円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得による支出50,000千円及び有形固定資産の取得による支出11,884千円による資金の減少により、使用した資金は89,140千円（前連結同四半期は134,423千円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済による支出115,690千円及び社債の償還による支出11,500千円による資金の減少により、使用した資金は150,529千円（前連結同四半期は97,916千円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年8月10日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	953,814	1,001,350
受取手形及び売掛金	406,015	352,052
電子記録債権	452,129	476,365
有価証券	—	35,889
商品及び製品	179,143	161,567
仕掛品	403,651	373,508
原材料及び貯蔵品	181,126	214,133
その他	33,163	36,465
流動資産合計	2,609,044	2,651,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	539,724	521,339
機械装置及び運搬具（純額）	167,675	241,618
工具、器具及び備品（純額）	32,127	36,395
土地	908,966	908,966
リース資産（純額）	56,176	57,114
建設仮勘定	2,019	4,539
有形固定資産合計	1,706,690	1,769,973
無形固定資産	17,780	16,077
投資その他の資産		
保険積立金	175,796	203,364
繰延税金資産	73,909	75,303
その他	6,253	5,610
投資その他の資産合計	255,960	284,278
固定資産合計	1,980,431	2,070,328
資産合計	4,589,475	4,721,661

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	282,477	207,776
電子記録債務	217,769	280,840
短期借入金	120,000	80,000
1年内償還予定の社債	23,000	23,000
1年内返済予定の長期借入金	124,753	81,541
リース債務	27,178	22,365
未払法人税等	20,810	58,358
賞与引当金	26,975	27,054
営業外電子記録債務	1,012	33,919
その他	88,544	156,085
流動負債合計	932,520	970,941
固定負債		
社債	84,000	72,500
長期借入金	299,075	266,597
リース債務	35,676	35,903
役員退職慰労引当金	138,747	145,028
退職給付に係る負債	89,648	92,942
その他	4,800	6,000
固定負債合計	651,947	618,971
負債合計	1,584,468	1,589,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	732,552	732,552
資本剰余金	679,512	679,512
利益剰余金	1,631,414	1,753,393
自己株式	△43,916	△43,916
株主資本合計	2,999,562	3,121,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	51
為替換算調整勘定	5,211	10,154
その他の包括利益累計額合計	5,445	10,206
純資産合計	3,005,007	3,131,747
負債純資産合計	4,589,475	4,721,661

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	894,630	1,399,752
売上原価	750,273	1,001,205
売上総利益	144,356	398,546
販売費及び一般管理費	232,699	219,433
営業利益又は営業損失(△)	△88,343	179,113
営業外収益		
受取利息	101	228
有価証券利息	800	1,344
受取手数料	1,117	992
補助金収入	200	200
廃材売却収入	140	527
為替差益	459	12,208
その他	848	1,021
営業外収益合計	3,667	16,523
営業外費用		
支払利息	1,641	2,544
有価証券評価損	910	14,111
その他	443	258
営業外費用合計	2,994	16,914
経常利益又は経常損失(△)	△87,671	178,722
特別利益		
固定資産売却益	200	90
投資有価証券売却益	1,223	—
特別利益合計	1,423	90
特別損失		
固定資産除却損	523	1,056
特別損失合計	523	1,056
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△86,771	177,756
法人税等	△25,522	50,517
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,248	127,238
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△61,248	127,238



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,248	127,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△832	△181
為替換算調整勘定	△1,989	4,943
その他の包括利益合計	△2,822	4,761
四半期包括利益	△64,071	131,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,071	131,999

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△86,771	177,756
減価償却費	61,161	59,863
株式報酬費用	3,764	—
受取利息及び受取配当金	△914	△1,583
支払利息	1,641	2,544
有価証券評価損益(△は益)	910	14,111
有形固定資産売却損益(△は益)	△200	△90
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,223	—
有形固定資産除却損	—	1,056
無形固定資産除却損	523	—
売上債権の増減額(△は増加)	43,775	32,513
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,558	17,440
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,447	△17,167
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,608	△12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,985	6,281
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,849	3,293
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,086	△3,280
その他の流動負債の増減額(△は減少)	5,162	176
その他	1,686	856
小計	3,822	293,760
利息及び配当金の受取額	914	1,583
利息の支払額	△1,627	△2,505
法人税等の支払額	△4,275	△13,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,165	279,635
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△50,000	△50,000
有形固定資産の取得による支出	△55,030	△11,884
有形固定資産の売却による収入	220	313
無形固定資産の取得による支出	△4,723	—
投資有価証券の売却による収入	2,925	—
その他	△27,814	△27,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,423	△89,140
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△40,000
長期借入金の返済による支出	△71,396	△75,690
社債の償還による支出	△11,500	△11,500
リース債務の返済による支出	△14,974	△17,112
配当金の支払額	△46	△6,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,916	△150,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,697	7,570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235,202	47,535
現金及び現金同等物の期首残高	819,706	953,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,503	1,001,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。